

JMRC 北海道冬季初心者ラリーシリーズ
2026年北海道スノーチャレンジカップ
協賛企画書



JAF北海道地域クラブ協議会
JMRC HOKKAIDO

JMRC 北海道 冬季初心者ラリーシリーズ
2026 年北海道スノーチャレンジカップ協賛企画書

【企画の趣旨】

本企画は、JMRC 北海道（日本自動車連盟 JAF の直轄団体）が統括し、JAF 公認競技会として開催される、冬季初心者向けラリーシリーズです。安全かつ厳格な運営のもと、北海道のモータースポーツ文化の発展と、冬季における運転技術の向上を目指します。

1. 企画概要

- ・企画名： 2026 年 JMRC 北海道 スノーチャレンジカップ（全 3 戰）
- ・開催期間： 2026 年 1 月～2 月（冬季間）

第 1 戰 2026 年 1 月 18 日 第 40 回 EZO ENDLESS RALLY

第 2 戰 2026 年 2 月 1 日 スノーチャレンジカップ in 夕張

第 3 戰 2026 年 2 月 15 日 北海道ブリザードラリー

- ・開催形式： 全 3 戰シリーズ（各戦 1DAY）
- ・主催： 公認クラブ AG. MSC 北海道
加盟クラブ EZO
加盟クラブ CLOUD
- ・統括： JMRC 北海道（JAF 直轄団体）
- ・公認： 日本自動車連盟（JAF）公認競技会



2. 本シリーズの特徴

- ・高い信頼性： JAF 公認競技会としての高い信頼性と安全基準を遵守しています
- ・厳格な運営： JAF 競技規則および JMRC 北海道規則に基づく適正な運営を行います
- ・地域性の活用： 雪道・低温環境を活かした、北海道ならではの冬季ラリーです
- ・入門層への特化： 初心者・初参加者を主対象としたカテゴリー設定を行っています
- ・長期的な露出： 全 3 戰のシリーズ戦により、継続的な参加と広告露出が可能です

3. 想定規模

- ・ 参加台数： 各戦 20～40 台
- ・ シリーズ登録者： 10～30 組
- ・ 来場・関係者： 各戦 50～150 名
- ・ 参加者属性： 初心者・若年層が約 70%を占めます



4. 協賛企業様のメリット

- ・ 社会的信頼： JAF 公認競技会への協賛を通じた、高い企業イメージの向上
- ・ 製品プロモーション： 厳冬環境下での製品・サービスの実使用を通じた訴求
- ・ 多面的な広告： 公式 Web、自動車雑誌、SNS、印刷物を通じた、全 3 戦にわたる継続的な PR
- ・ CSR への貢献： モータースポーツ振興および次世代の人材育成への寄与
- ・ 00H 広告： 競技プログラム、成績表等にロゴ掲載、会場にてのぼり等の設置（本数等は要打ち合せ）

5. 協賛メニュー（目安）

- ・ シリーズ協賛： 30 万円（全 3 戦共通でのロゴ掲載・）
- ・ 物品協賛： 賞金、タイヤ、オイル、バッテリー、飲料等の提供

6. お問い合わせ先

- ・ 団体名： JMRC 北海道 ラリーパート会
- ・ 担当者： 部会長 秋葉貴之
- ・ 連絡先： TEL：090-3119-4193 E-mail：akt.engineering.haru@gmail.com

JMRC 北海道ラリーシリーズラリーカップポイント規定

1. 総則

JMRC 北海道 Moty's ラリーシリーズの振興のために、賞典としてラリーカップを設ける。ラリーカップの位置付けは、カップ戦として指定される各競技会のポイントの合計に対して与える、シリーズに対する付加的な賞典であり、JMRC 北海道 Moty's ラリーシリーズとして指定された各競技会に優先し、或いは影響を与えるものではない。

2. 定義

JMRC 北海道ラリーカップとして、以下を設ける。

1) JMRC 北海道 北海道スノーチャレンジカップ JMRC 北海道 Moty's ラリーシリーズで行われる競技会を含む、スノーロードで開催される競技会として、補則に定める競技会を対象とする。

3. クラス

2.に定めるカップ戦として定義される競技会において、クローズドクラスに参加するクルーをして、以下のクラス別にドライバー及びコ・ドライバーに対して賞典を与えるものとする。

① AWD クラス：排気量及び変速機の手動・自動を問わず、4輪駆動の車両を対象とする。

② 2WD クラス：排気量及び変速機の手動・自動を問わず、2輪駆動の車両を対象とする。

③ XCR チャレンジクラス：XC 車両及びカタログ値の全高が 158 cm を超える SUV 車両を対象とする。

XC 車両及び SUV 車両の定義は当該年の「XCR スプリントカップシリーズ規定」を参照のこと。

(なお、ロールケージ、消火器、4点式以上のシートベルトが装備されてなくとも参加可能とする)

4. タイヤ 各クラス共に装着できるタイヤは、一般スタッドレスタイヤとする。(通称ラリースタッドレスタイヤは使用不可)

5. エントリー

2.に定めるカップ戦として定義される競技会への参加申込を以って、カップ戦における当該クラスへのエントリーとする。なお、別途各競技会が定める参加申込書の所定欄にクラス別の記入を行うこと。

6. クラス成立 各クラス 2 台以上の参加出走を以って、カップ戦におけるクラスの成立とする。参加出走とは競技会の競技部分における最初のタイムコントロールにチェックインすることを指す。

7. カップ成立

カップ戦として指定された競技会のうち、各クラスにおいて 3 分の 2 以上の戦数の成立を以って、当該クラスについてのカップが成立するものとする。

例：スノーチャレンジカップにおいて

- 競技会 A において AWD クラスの出走が 5 台、2WD クラスが 1 台
- 競技会 B において AWD クラスの出走が 3 台、2WD クラスが 0 台
- 競技会 C において AWD クラスの出走が 1 台、2WD クラスが 2 台

このとき、AWD クラスについてはカップとしての成立した競技会が 2 戰あるので、3 戰中 2 戰 (3 分の 2 以上) の成立となり、スノーチャレンジカップが成立する。一方、同 2WD クラスについては、

カップとして成立した競技会が1戦のみのため、スノーチャレンジ カップは成立しないものとする。

8. 得点基準ならびに順位認定

- ①カップ戦として指定されたそれぞれの競技会において、カップとして成立した各クラスに参戦し、完走したドライバー及びコ・ドライバーに対して、JMRC 北海道 Moty's ラリーシリーズで与えるものと同一のポイントを与える。
- ②得点対象者は JMRC 北海道互助会加入者であること。
- ③カップにおいて、指定されたカップ戦全戦が得点合計の対象となる。
- ④各クラスに 2 戦以上参加出走実績がある者で、得点合計が高い順に順位を認定する。但し、同一得点の場合は上位得点の獲得回数が多い順とする。同一得点かつ上位獲得回数が同数の場合は、開催時期が早い競技会において上位得点を獲得したものを上位と認定する。

9. 表彰 カップにおいて順位認定された、各クラス上位 2 位までのドライバー及びコ・ドライバーを表彰対象 とし、JMRC 北海道シリーズ戦モータースポーツ表彰式において表彰を行う。なお、各カップ戦単位での表彰は行わない。

10. 参加料 カップへの参加料はこれを課さない。

11. ポイント集計 ポイントの集計と発表は JMRC 北海道ラリー部会にて行う。

12. 本規則の施行 本規則は 2026 年 1 月 1 日をもって施行する。

補則

1. 2026 年の北海道スノーチャレンジカップ戦として、以下の 3 戦を指定する。

2. ● 1 月 18 日開催 第 40 回 EZO ENDLESS RALLY (主催 : EZO)

● 2 月 1 日開催 2026 年スノーチャレンジカップ in 夕張

(主催 : EZO 共催 AG.MSC 北海道・CLOUD)

● 2 月 15 日開催 北海道ブリザードラリー (主催 : AG.MSC 北海道)